



朝鮮暴動實記二編大尾

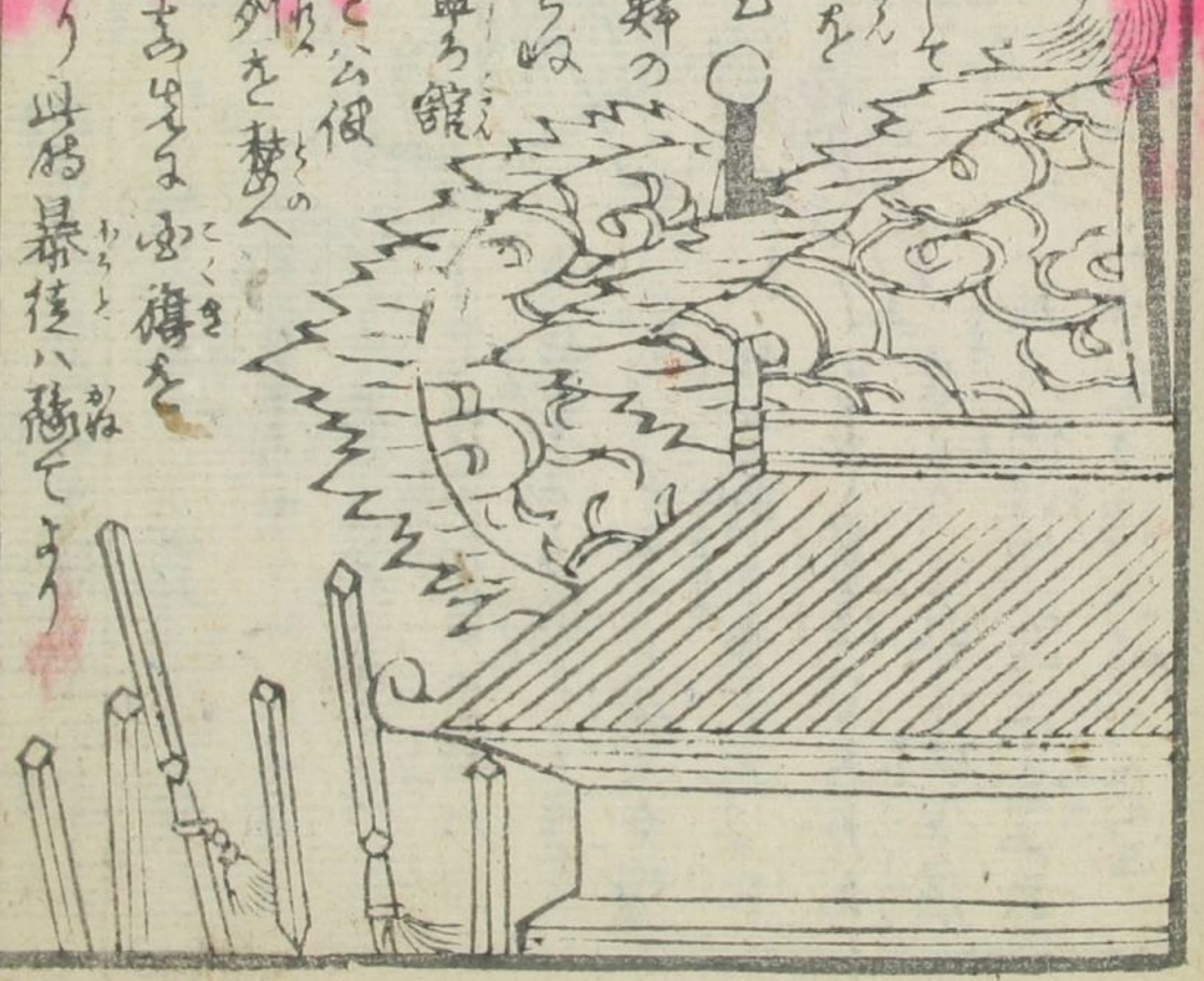
岡田良策編

上卷



再々修め我公假敵の人々ハ
 力をそめて防ぎしが暴徒ハ
 攻身よ多勢と形ノ瓦礫を散らし
 押寄つて瓦の如く子老石瓦丸を
 ぶすもど公假敵の人々ハ
 もとと貴族を極め殊に朝野の
 政府より一玄卒の撥まふ事あり
 外おきて出通を以て天子任むると公假
 を始め鎮負編て廿八何れも列を替へ
 ついでお出よとてあはれあはれ
 みるか一兩と呼んでゆりたり此為暴徒ハ
 徳てより

月洋一編



<98-8400>

岡田身策



岡田身策

十一卷



小の魯ふ
 抽で切立るせ
 大刃風の強き暴
 待り何をもたまる
 へさ何れも
 多酒をうけ
 あから右方
 左方に迎
 りつぎを勝よ
 長たれ我人々
 伊せを三三切立
 支士

△ 幅栞り書外外外外
 やうの中く又中申よ
 りも強壯あまの乱る中を
 事共 せぬ取て返
 三三三三三三
 先方と相
 三三三三三三
 三三三三三三



防ぎの爲めに柵を結びつと厳重
 小指ひあり一が令公使殿内の
 人々が突出るせ一丸ひひあり
 軸くや思ひけん一更もまへ
 一と右方左方おられ後
 り我先いと逃すしるを
 ぶたりやおうと我人々切
 伏せ難きをそあどに
 りも暴徒はうろたえ
 中より已ぬと結たる柵
 一蹴り倒れつ地つて上にお
 かきおりの柵がにさ道△

貞貞二

上

直に暴徒の多勢を利むと云ふ

とあるとき又由向可く

四の海ありておきまれば

我人の人数をまよあま

好む戦のあらねば

茲を急進よと失れよ

り大略出たれど誰

一人も近附者なく愛

人勢を傾べらぬも

府をうけハ依川

星氏の友人の腹

斬かまをうけ



此依川氏に突出する

以て一歩も退

戦いぬが

身刀の青に基の名冠あり

が涙の如く少相成

と云ふやうに

營に至り小門ハ開けてあり入りて

足をも入る新軍一老を大門の内あり

ハ此橋より数人の暴徒現れ

原母を扱て好く此を

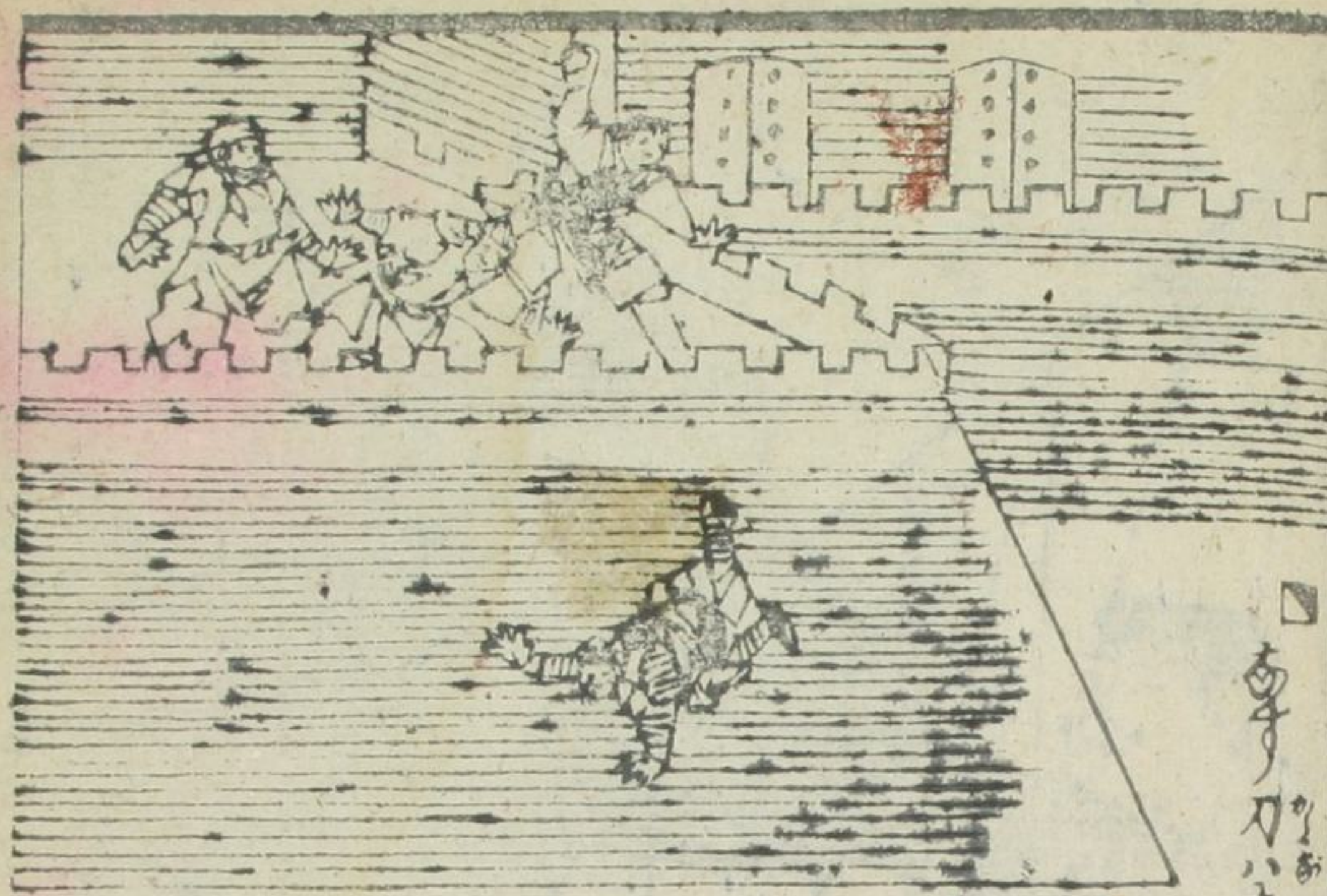
以てお拂ひあり進んで一人を斬り

三門を入り宣化堂の至り見れば

寂寥として暴徒の影を

宮との聲を聞き見れば

に到りあると云はれ



考へて其方如く有め
 衣帽ハ侵すはあり
 其の苦む中々有
 義節水越れをあるハ
 以て其くして宜あらん
 やら時必辱々臨み
 よひ各各須更ハ
 此然たり此時後
 を身返りて大免
 焔々として天
 を焦すい之れ



日あんが便紙の習
 便をすまめ濡た白
 服を後
 拭して
 九かひの
 年事を
 之れ



此れ思ふをありて
 んとある者の面は
 くは六九川府西岸んとて
 中島文司経理事と末
 親原便書を贈りて大
 畧の形勢を
 速政府の
 振立を
 官は
 かん



水勢をけし、殊に雷鳴また
 一ヶ水が容易く海らんやも
 そねど、海にうき、僧はりまれ
 より、深き原野を幸ひも、海に
 なる千倍と思ふ、ころ、當年の成谷
 里の、民の、心、を、

ハ、海、募、水、
 と、軒、か、飲、
 が、民、



仁川
 今野
 大門を
 南



△府の、勤、かん、と、は、あ、り、
 だ、い、重、い、も、政、府、運、の、
 民、を、務、め、ん、
 ら、ん、課、事、を、為、
 せ、と、の、一、封、を、務、め、ん、
 松、を、又、も、勤、を、お、し、裁、
 信、場、を、務、め、ん、が、難、也、中、に、居、

め、て、務、め、
 一、同、ち、を、山、氏、
 自、ら、務、め、
 押、

合、せ、ぬ、舟、
 を、集、め、
 一、同、ち、を、山、氏、
 自、ら、務、め、
 押、



出を自午
 後三時
 仁川府
 を着
 此府
 假鄭志客の出
 又差使官言喜
 者者亦出迎たり自ら政
 堂を閉りて存身公假の
 休息ふとあり又門
 前ある官舎を



拂ひて
 査の
 後夜服を出して
 但小早一と
 ひよ何れも安堵の思ひ
 を着
 喜か
 と名後
 め小思
 ありし門
 只事
 巡査
 昌克
 官

用洋二番

二二

少



田舎



五十七山嵐
 吉敷殿の
 手傷は除路
 刀を杖に入
 水松子地
 と向ふま



一息の
 門を
 政堂の
 史の
 横山
 等
 ひて
 かく
 息の
 救
 二す
 軍
 公使
 一
 原
 上

會まゐ—又またおぼ
 村むら武田たけだのくくわわも
 此こゝをを子こ孫そん會まひひははな
 事ことをを深ふかくく夫おとこれれよより
 言ことば雄おとこがが舌したをを馬うま
 云い假かりをを言ことばふふんんとと守まもり
 昔むかし山やまのの氏うぢもも子こ孫そんの
 出いるるふふよよりりとと花はな舟ふね
 山やまのの氏うぢのの山やまのの山やま
 久ひさ水みづがが馬うまをを海うみのの浦うら
 へへ赴おもむくくんんとと竹たけのの皮かわをを
 せせらられれりり



010190514515

